

歯★ピカクラブ 1月号

2008年になりました

今年もよろしくお願ひします $m(-|-)m$

スタッフ
-同より

★今回のテーマは『お口のケガ・応急処置法』です。

遊ぶのが大好きな子供達。特に、歩きはじめの幼児は、顔から転んだり、ものをお口にくわえて転んだりとケガが絶えず、お母さん達はいつもドキドキ＆ハラハラ…

受傷後、乳幼児においてはパニックになっている事が多いので、大人は普段から心構えをしておきましょう。

☆赤-凶ケア☆

おちついて対応してあげましょう!!

①止血をする: まずは清潔なティッシュペーパーや脱脂綿などで傷口を5分程おさえて血が止まるまでようすをみて下さい。

②さわらない: お口のなかの傷口は治りかけるとき白い膜(偽膜)でおおわれます。そのときはまだ出血しやすいので"手でさわらないように注意"してあげてください。

《歯のけが》

歯が折れていたなら

●折れた部分が小さければもとのかたちに治すこともできますが、歯の中心には神経があります。神経が出てしまうとすぐに細菌に感染して歯をためにしてしまうので早めに受診しましょう!

歯がグラグラになったら

●グラグラになったり曲がってしまったら、まず正しい位置にもどして固定しなければなりません。歯の根が折れていることもありますので、すぐに処置を受けにきてください。

歯が抜けたら

●歯が抜けてすくなら、もとにもどすこともできます。抜けてしまった歯は根にさわらないで、清潔に扱い、乾燥させないように水又は牛乳に浸して早く歯科医院に来てください。

保護者のため

① 一度転ぶと、2度・3度と同じところを打ってしまう子もいます。。。!! ご注意を★

